様式 2

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	理科・731 理科・831 理科・931	自然の探究　中学校理科 1 自然の探究　中学校理科 2 自然の探究　中学校理科 3
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　第 1 分野 第 1 学年では、力の大きさとばねののびとの関係を調べる実験などの活動や、アンモニアの性質を調べる実験などの活動、第 2 学年では、乾電池とコンセントの電流の違いを調べる実験などの活動や、化学変化に伴う温度変化を調べる実験などの活動、第 3 学年では、異なる方向に働く 2 つの力の合力を調べる実験などの活動や、塩化銅水溶液に電流を流したときの変化を調べる実験などの活動、情報通信機器に利用されている科学技術を調べるなどの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　第 2 分野 第 1 学年では、植物の花のつくりの観察、光合成が行われる場所を調べる実験などの活動、安山岩や花こう岩のつくりの観察などの活動、第 2 学年では、唾液の働きを調べる実験などの活動、簡易真空容器を使って雲のでき方を調べる実験などの活動、第 3 学年では、コダカラベンケイソウなどの無性生殖の観察などの活動、金星の動きや見え方の観測などの活動、土壌中の微生物の働きを調べるなどの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 第 1 学年では、池の中に住む微少な生物の観察についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習、粒子の運動と温度との関係について理解するなどの発展的な学習、第 2 学年では、金属の質量と化合する酸素の質量との関係を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習、細胞質の微細な構造について理解するなどの発展的な学習、第 3 学年では、水溶液と金属を使って電気エネルギーを取り出す実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習、iPS 細胞の作製について理解するなどの発展的な学習が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第 1 学年では、火山活動や火成岩についての活動の後に、地震と大地の変化についての活動を取り扱い、第 2 学年では、動物の行動の仕組みについての活動の後に、動物の生命維持の仕組みについての活動を取り扱い、第 3 学年では、物体に力が働くときの法則についての活動の後に、物体の運動についての活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○　内容の分量 第 1 学年～「第 1 分野」は 120 ページ、「第 2 分野」は 124 ページ、「資料等」は 38 ページであり、総ページ数は 282 ページで、前回より約 23%増となっている。 第 2 学年～「第 1 分野」は 122 ページ、「第 2 分野」は 130 ページ、「資料等」は 32 ページであり、総ページ数は 284 ページで、前回より約 21%増となっている。 第 3 学年～「第 1 分野」は 134 ページ、「第 2 分野」は 122 ページ、「第 1 分野と第 2 分野の共通ページ」は 8 ページ、「資料等」は 50 ページであり、総ページ数は 314 ページで、前回より約 31%増となっている。			
使用上の配慮等	○　コラム「ハローサイエンス」において、日常生活との関連や科学の話題を紹介し、科学の有用性などを伝えたり（全学年）、コラム「わたしのレポート」において、防災の取組である「釧路市津波防災マップ」を紹介したり（第 3 学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　巻末の「自由研究」において、自由研究の方法や自由研究のテーマを掲載したり（全学年）、「基礎・基本問題」や「活用・応用問題」などにおいて、学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　既習事項を確認することができるよう、「思い出そう」マークを付し既習事項を示したり（全学年）、安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、注意すべき観点を類型化したアイコンとともに、注意文を朱字で掲載したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道に関連のある資料は、「占冠村のチャート」など、第 1 学年で 15 箇所（うち上川管内 2 箇所）、第 2 学年で 3 箇所（うち上川管内 1 箇所）、第 3 学年で 11 箇所取り上げられている。 ○　単元扉の「学んでいくこと」には、小・中学校 9 年間を見通した内容の一貫性を図るため、小学校での学習内容と、単元で学習する内容を簡潔に説明する工夫をしている。 ○　カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応として配色やレイアウト、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。			